「観光先進国」へ、2024年を始動の年に

客室規模別データ

経営の課題

経営の課題について「10～30室」「31～50室」「51～75室」「76～100室」「101室以上」の五つの客室規模別に見ていこう。

「10～30室」では2位に「集客」

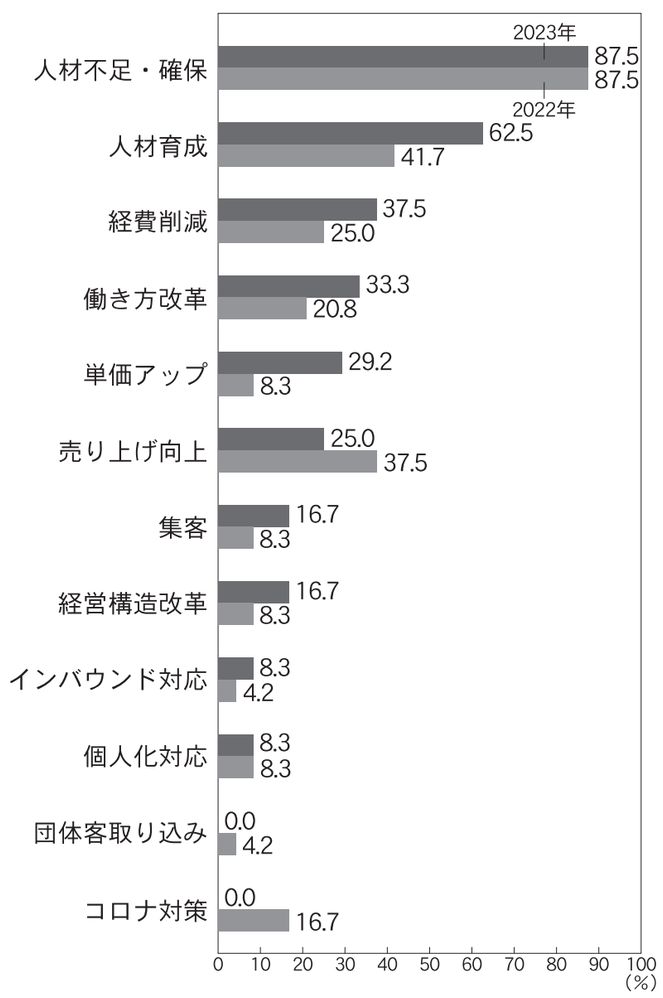
「10～30室」では、トップが「人材不足・確保」（83・3％、前回87・0％）。2位に「集客」（33・3％、同21・7％）が入っているのが、ほかのクラスにはない特徴だ。3位は同率で「働き方改革」（29・2％、同34・8％）と「売り上げ向上」（29・2％、同26・1％）だった。

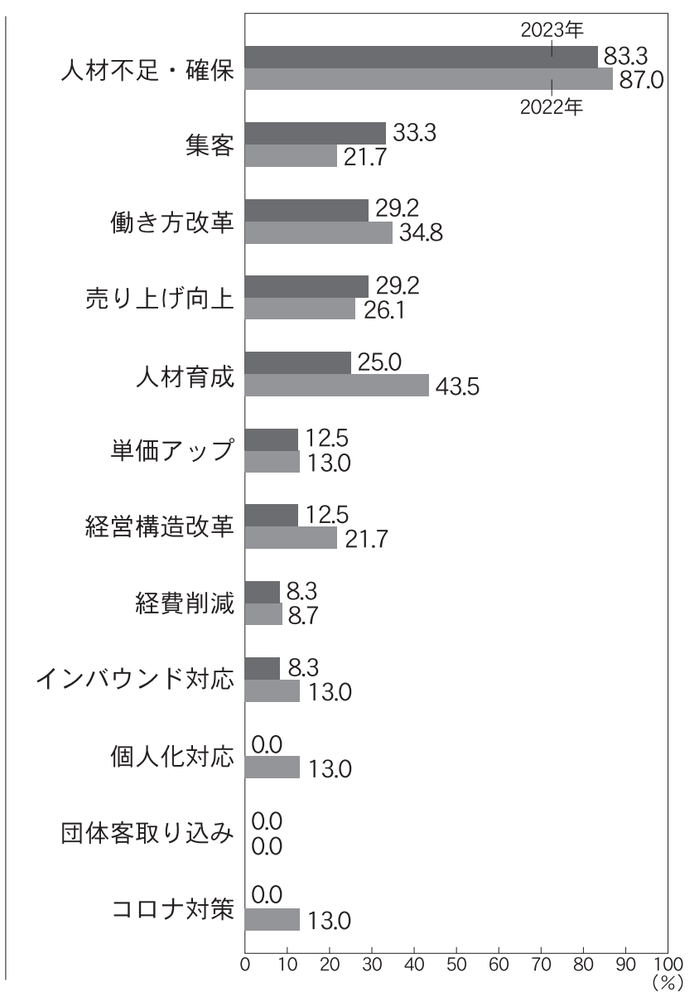
「31～50室」もトップは「人材不足・確保」（87・5％、同87・5％）だった。2位は「人材育成」（62・5％、同41・7％）。3位に「経費削減」（37・5％、同25・0）が来ているのが特徴だ。

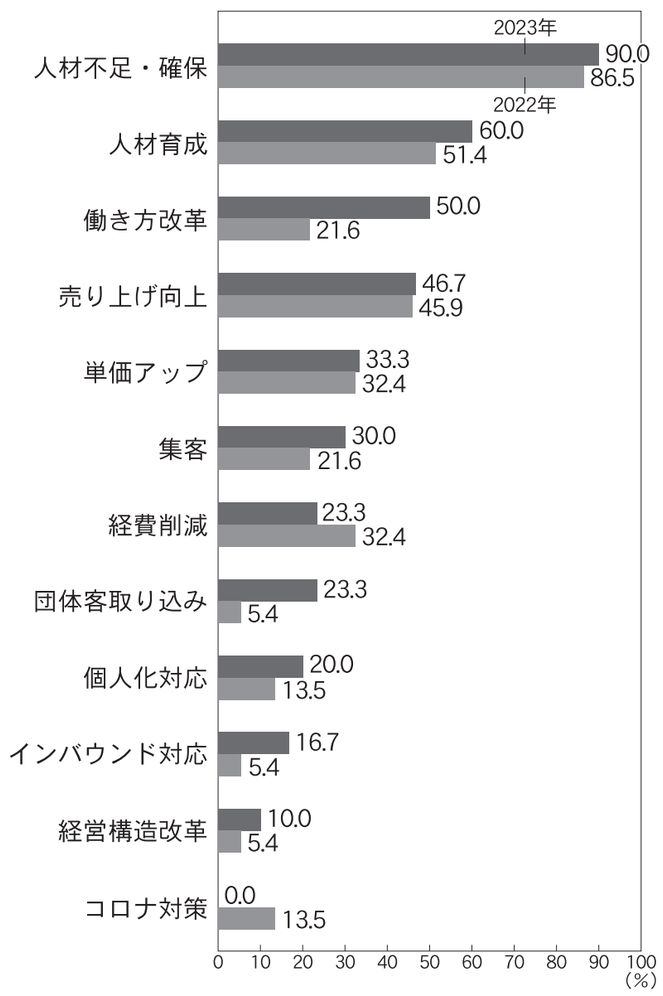
「51～75室」は「人材不足・確保」（92・0％、同90・0％）がトップで、その回答率は規模別で最も大きい。2位は「人材育成」（52・0％、同35・0％）、3位が「働き方改革」（50・0％、同35・0％）となっている。

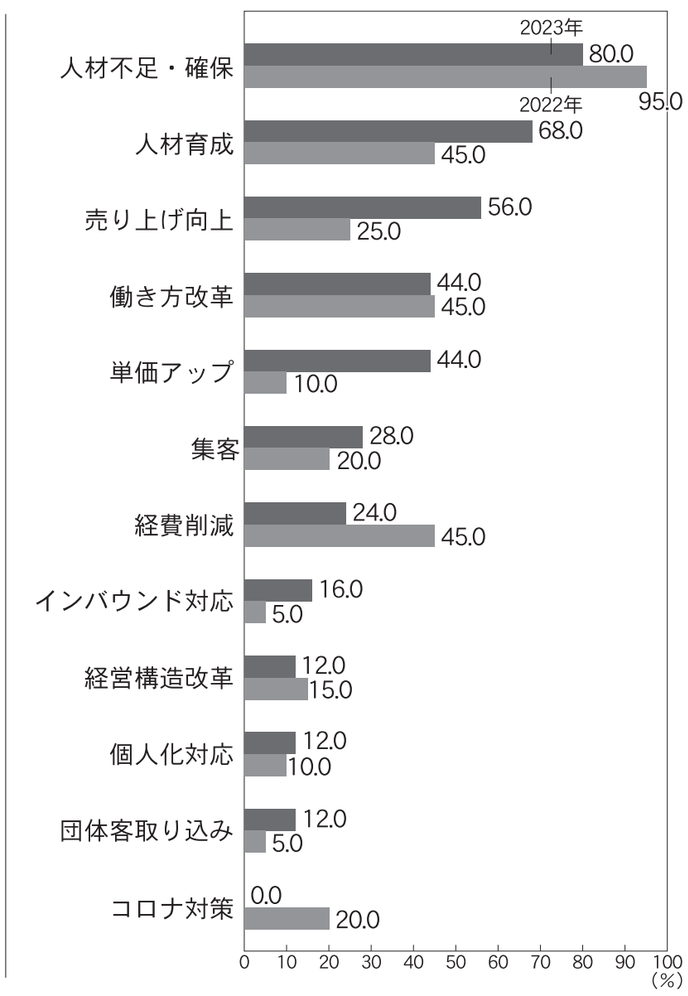
「76～100室」も「人材不足・確保」（80・0％、同95・0％）がトップである ことは同じ。2位は「人材育成」（68・0％、同45・0％）、3位が「売り上げ向上」（56・0％、同25・0％）だった。

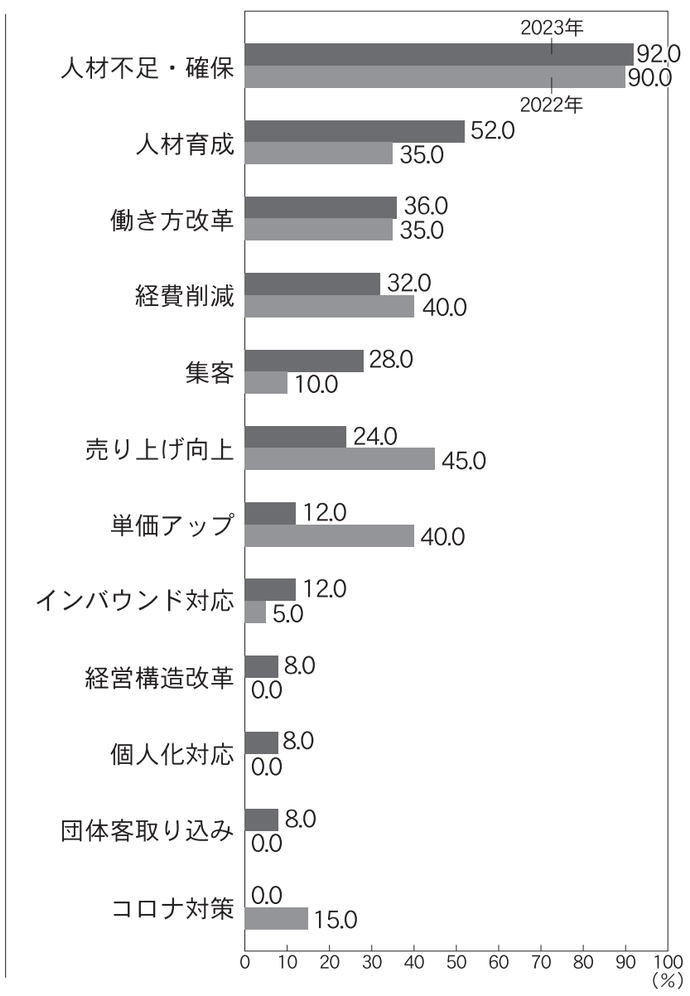
「101室以上」もトップは「人材不足・確保」（90・0％、同86・5％）。2位が「人材育成」（60・0％、同51・4％）、3位が「働き方改革」（50・0％、同21・6％）で、全体の傾向と同様、雇用問題がトップ3に並んだ。











新年おめでとうございます。

JTB協定旅館ホテル連盟

本部

名誉会長 山田一郎
会長 花崎光彦
副会長 宮北栄二
〃 唐坂雅昌
〃 大塚隆太
〃 小口信朗
〃 小唐憲子
専務理事 岡田浩一
〃 平冨与志彦
〃 伊藤朝智
〃 小森信敬
〃 岸本作郎

北海道支部連合会

名誉会長 増子敦
会長 葛西憲太朗
副会長 小口康人
〃 澤斎勝仁
〃 藤田亮
〃 山尾直喜
〃 林泉理男
〃 岩山健一
〃 山口史嗣

東北支部連合会

名誉会長 阿部晃士
会長 唐神昌子
副会長 西野有人
〃 濱村清正
〃 桑島目隆
〃 長瀬智弘
〃 森下大勉
〃 西則介

関東支部連合会

名誉会長 檜垣克己
会長 岡田浩一郎
副会長 横塚裕喜二
〃 伴野誠彦
〃 阿手津博孝
〃 太田雅史
〃 竹川真実
〃 富澤健治
〃 室伏博
〃 北上学

中部支部連合会

名誉会長 内海勝仁
会長 小田與誠
副会長 小野彦弘
〃 原輔洋
〃 杉啓之勝
〃 岩崎和
顧問 瀧山康正
副会長 新渡邉琢磨
〃 三奥木村滝
〃 渡邉英琢
〃 濱岡利樹
顧問 田野政一玲

西日本支部連合会

名誉会長 北村豪
会長 岸井本路
副会長 岩谷本郎
〃 下津田司
〃 沼川博
〃 今田也
〃 宇植二
〃 有永祐英一
〃 本山田久幸
〃 皆宮増藤近小植奥近松
〃 美崎田本崎松田村兼村
〃 佳光友正雄昭佳敏弘孝
〃 邦彦宏孝一二宏仁幸明
顧問 隆久

九州支部連合会

名誉会長 篠崎信敏
会長 冨永森徹
副会長 安中作郎
〃 小田林秀隆一
〃 河津豊四郎
〃 西田陽一男
〃 中原明隆
〃 松前吉
〃 渦田井
〃 古原真
〃 田良次

沖縄支部連合会

名誉会長 桂耕一
会長 平原敬志
副会長 東江朝和
〃 渡美裕
〃 前田介